生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター　　施設名/足立区江北地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和7年度　【自己評価】令和8年4月1日　【評価委員会】令和8年8月17日
【評価点】水準を大きく上回る：5点　水準を上回る：4点　水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点　水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		評価点×2		
		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×２)		指定管理者	担当課	評価委員会
1 管理状況	A 適切な管理の履行	1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	18.0 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み（意識、接遇の向上） ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】管理運営業務仕様をよく理解し、日々高品質な管理運営を心掛け取り組んでいる。所内で全員が取り組むことと分担することを明確にした上で、分掌上のサブ担当を適切に設け、業務が滞らないよう留意している。新システム研修への参加と慣熟は今期の重要なテーマだったが、煩雑な情報の錯綜に悩みながらも所内で協力して取り組み窓口品質を保った。人材育成の取り組み「区民も職員もリラックスできる接遇研修」は今期は成果がなかったが、引き続き総合的な視点で区民サービスの向上に取り組みたい。			
			【改善すべき点･課題等】新システムは、旧システムの使用感を吸収する形で漸次更新を続けているため、確認を怠らず、所管課や基幹センターとよく協力して事故のないよう窓口システム業務に当たりたい。令和6年度減点項目であった引継ぎ不足による応募者対応の放置については、令和6年度中に情報共有体制と応募者対応体制を適切に改善し、再発なし。			
		区記入欄	【特記事項】業務仕様を理解し品質の高い運営を行っている。項目2について、令和6年度に職員間の引継ぎ不足により、応募者への連絡を放置する事案が発生した。令和7年度は施設内の役割分担と体制を改善し、同様の事案は再発していないことから改善したと考える。その他、システム入れ替えによる大きな運用変更に対して施設全体で取り組み、業務停滞を防ぐ努力をしたこと、またサービス向上を目指した接遇研修などの取り組みを評価する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】新システム移行への習熟に組織的に取り組んで窓口品質を維持した。6年度に発生した応募者への連絡を放置した件については施設内の役割分担の改善により、再発していないことを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】今後とも業務の引継ぎなど、基本的な管理を切実に実行してほしい。			
	B 安全性の確保	**施設の安全性は確保されているか**		評価点 指定管理者	担当課	評価委員会
		1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応　など	5.0	4.0	17.0 (満点20点)
		2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案　など	3.0	3.0	
		3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理　など	5.0	5.0	
		4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知　など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】「館内BGMの導入」により館内のリラックスした雰囲気の演出および窓口での迷惑行為抑止効果による利用者・職員の安全向上を図ったほか、「施設利用団体との避難訓練」「統括責任者の防災士資格取得」により災害発生時の避難や二次避難所開設・運営、平時の備えの改善など、総合的な災害時対応力向上に取り組み、成果を上げた。			
			【改善すべき点･課題等】施設・設備の鍵は、破損させないように扱うことが大前提であるが、破損した場合も「もう使えないから」と安易に廃棄したりせず、破損した年月日、再発防止のための破損原因等の記録を取った上でキーボックス内に保管し、所管課の許可を得て複製作成を待ってから廃棄するよう全職員に徹底する。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、日常点検の記録を図面に落とし込む工夫を行うことで対応ポイントを明確にした取り組みを評価して水準点に1点の加点とする。毎日点検の必要がある場合、必要に応じて修理して管理していくことが必要と考える。項目3について、BGMの導入で館内環境の向上を図った。BGMの使い分けといった工夫も見られることや、調査における利用者の反応も好評であることから水準点に2点の加点とする。項目4について、利用団体との避難訓練や職員の防災関連資格取得など危機管理体制向上を目的に各種取り組みを実施した。特に「防災士」資格取得に関しては取得のために得た知識を日頃の管理運営に落とし込むことで、災害時対応力を向上させており水準点に2点の加点とした。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】「防災士」の資格取得や、大会参加者がいる中での訓練など、多様な取り組みを実施している。特に「防災士」資格取得に関しては取得のために得た知識を日頃の管理運営に落とし込むことで、災害時対応力を向上させている点で評価できる。また館内BGMの導入についても利用者の高い支持を得ていることから評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

				評価点		
C 法令等の遵守（※倫理性も含む）	**個人情報保護､各種法令等は遵守されているか**			指定管理者	担当課	評価委員
		1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施　など	5.0	4.0	10.0 （満点15点）
		2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
		3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄		【アピールポイント】個人情報を含む媒体の運搬、持込について台帳管理を行い適正に取り扱ったほか、区内や社会一般で起きた事件・事故事例を参照して所内で注意喚起し、個人情報の漏えいや紛失、法令違反といった事故は発生していない。万が一の事態に備えて「エアタグを用いた個人情報紛失防止」で追跡管理体制を構築した。			
			【改善すべき点･課題等】公共施設の管理運営における社会的責任の重さを常に念頭に置き、区民福祉の増進のため、誠実に日々の職務を遂行していきたい。			
	区記入欄		【特記事項】項目1について、同指定管理者管理施設による先行導入に基づき、個人情報を持ち運ぶ際につける小型発信機を自館でも導入した。万が一個人情報を含む媒体の置き忘れが発生した際に、即座に対応できる環境を整えた点を評価し、水準点に1点の加点とする。			
	評価委員記入欄		【評価すべき点】同指定管理者施設の先行導入を参考に、個人情報漏洩に対する対策をとり、また個人情報保護の意識を強めた点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

				評価点		
D 適切な財務・財産管理	**適切な財務運営・財産管理が行われているか**			指定管理者	担当課	評価委員
		1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和7年度収支　(-4,029千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備　など	3.0	2.0	2.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄		【アピールポイント】区歳入や指定管理者収入をはじめとする出納業務全般において、厳正かつ確実な事務処理を徹底し、これまで金銭事故等のトラブル発生を抑えている。今後も遅滞のない適正な業務遂行に努めていく。			
			【改善すべき点･課題等】前項と併せ、区民や社会の信頼を失墜することのないよう慎重、正確に業務に取り組みたい。収支赤字については、公契約条例改定に伴う臨時職員給与の支出増による不可抗力的な人件費要因が特に大きいと認識しているが、責任者業務の洗い出しと教育の見直しにより属人化を防止し、経費の圧縮を目指す。また、収益を見込んだ自主事業の拡大により少しでも改善を図りたい。			
	区記入欄		【特記事項】収支に関して、400万ほどの赤字が生じたため、1点減点とする。物価高騰や人件費の増加など様々な要因が考えられる。今後はより収支を意識した財務運営を期待する。			
	評価委員記入欄		【評価すべき点】経理処理は適切に行われている。 【改善すべき点】収支は公契約条例改定に伴う人件費増等により400万円の赤字となった。外的要因は理解できるが、自主事業の拡大等により、健全な財務運営になるよう改善を求める。 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
2 事業効果	A 学習事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、ＳＮＳ、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	18.0 （満点20点）
		2	A型事業（基本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆Ａ型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	3.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】「センターHPの画像掲載充実」や「近隣商店との相互PR」による情報発信の改善、また地域における認知度向上を図った。「アーティフィシャルフラワー講座の新設」や「キッズダンスのクラス分け」「イングリッシュカフェのステップアップクラス」「大人バレエのクラス編成見直し」では、新たな学びの機会提供、また時間や力量の条件に適したクラスに区民が参加できるよう改善を行った。「ビーズブレスレットの展示」は残念ながら利用増の成果はなかったが、良質のサロンが区民に認知・活用されるよう引き続き工夫していきたい。			
			【改善すべき点･課題等】個別の楽しい講座ラインナップの充実だけでなく、今後は世代ごとのテーマに焦点を当て、「子どもたちの体験の拡大」「現役世代の余暇の充実」「高齢世代の健康づくり」を三本の矢として、それぞれに役立つ事業企画をしていきたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、HPの充実やミニコミ紙を通じた近隣店舗との相互PRを行い、地域の魅力発信など積極的なアピールに努めたことを評価し水準点に2点を加点する。一方で誤植のあるミニコミ紙を配布してしまう事案が発生したが、窓口では正しい案内を行い、短期間で対応したことから減点はしない。項目2について新規講座により新たな参加者の獲得や質の高い学習機会を提供したことを評価し2点の加点とした。項目3について、「ビーズブレスレット手作りサロン」参加者が作った作品をポスターと合わせて掲示した。参加者の作品を周知のために貼り出すのは特別な工夫とは判断できず、また成果も出ていないため加点なしとする。項目4について、参加者の要望や状況を考慮し、既存事業のクラス分けや講座内容の再編成を行った。講座の難易度を調整することで利用者がより参加しやすい環境を作り出し、また成果もあげていることから2点の加点とする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】ミニコミ紙による近隣店舗との相互PRを通じて、近隣店舗との事業協力関係を築いた点を評価する。また、キッズダンスクラスの見直しをすることでのべ参加者数が前年比29%増と成果が出ている点も評価する。 【改善すべき点】新規講座におけるセンター初利用者の獲得は少数にとどまっている。現状維持だけでも大変だとは思うが、参加者・初受講者を増加させるための更なる工夫を求める。 【その他注意点】			
	B 学習支援の取り組み	**施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充　など	5.0	5.0	14.8 （満点15点）
		2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携　など	5.0	5.0	
		3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用　など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】「サークル支援による登録団体活性化」や「フラダンス講座から登録団体への発展」に取り組み、成果があった。また「路地裏アートプロジェクトでの『宮沢賢治が見た桜』展示」では近隣の都市農業公園と連携し、地域人材が歴史ボランティアとなって作成した学びの成果の発表機会となるアウトリーチを実現した。「新規区民講師の活用」では初企画の講座開催につながる成果があった。「江北名所地図リーフレット」は地域のボランティアとともに地域資源の学習を深めた集大成の成果物となった。大規模改修工事を控える「江北コミュニティセンターとの連携による利用の強化」は今期は成果がなかったが、地域住民の余暇活動の場という共通点をもとに引き続き連携に取り組みたい。			
			【改善すべき点･課題等】区民・地域住民の「教えたい」「調べて伝えたい」「手伝いたい」といった意欲を地域の学びの循環に活用することで地域全体が充実していくよう、地域人材バンク・活用事業バンク機能を改めて独自に構築したい。また、引き続き地域資源の「江北の五色桜」を活用した事業に取り組んでいきたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、登録団体のメリットをわかりやすく説明したチラシの作成により事業のサークル化という目標を達成するとともにサークル化により、利用者の主体的な学びを促進させた点を評価し2点の加点とした。項目2について、都市農業公園で行われるイベントにて、地域人材や自館のボランティアと連携して宮沢賢治が江北地域で残した短歌のパネル展示等を行った。他施設でのアウトリーチと複合的な取り組みを評価して2点の加点とする。項目3について、江北地域の名所をまとめた「江北名所地図」リーフレットをマルシェイベント等で配布した。地域資源の魅力を広く周知することで区民の地域への愛着を育てた取り組みを評価し2点の加点とする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】登録団体の制度について分かりやすく説明し、利用者が自主的および継続的に活動できる支援を行った点を評価する。また区民講師の発掘や歴史ボランティアと作成した江北各所地図リーフレットを用いた地域資源の発信などを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

C 図書館事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果　など	5.0	5.0	10.0 （満点10点）
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】新たな利用者獲得のため、近隣施設や団体との連携事業に力を注いだ。居場所としての活用や電子図書館のPRにより、「もっと気軽に使える図書館」を広めることができた。また、例年通り子ども向けの館内イベントを通年で行ったが、大人も楽しみたいという要望があり実施したところ好評だった。			
		【改善すべき点･課題等】居場所としての図書館づくりを進める一方で、静けさや従来のルールを守りたい利用者とどのように共存していくか、具体的な方策を考えたい。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、学校等への出張PRにより新規登録目標を達成し、中高生の学習室利用を増加させている。職員研修により窓口対応力を向上させ、寄贈布絵本やパペットを活用した取組で親子の来館や読書のきっかけづくりを推進している点も踏まえ、水準点に2点の加点とする。項目2について、江北高校美術部との連携展示などを通じ、施設の周知や利用促進にも取り組んでいる点を評価し、2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】図書館PRとして積極的に学校訪問等をし新規登録目標を達成するなど、施設の周知や利用促進に取り組んでいる。また、全スタッフ対象のOPAC研修など利用者拡大と対応力向上の取り組みが具体的である。廃棄部材を活用した「しおりくじ」も目標を上回る参加を得ている点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 利用の状況	**適切な利用状況となっているか （環境の変化など外部要因を考慮）**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設47%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値　59%（前年度利用率＋3%）	5.0	4.0	9.0 （満点10点）
	2	図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（159,445人）※基準値/157,882人 貸出冊数（150,048冊）※基準値/147,401冊	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】体育館の利用率は、個人利用の定期的なスケジュールと突発的な設定それぞれの周知に力を入れ、使われないままのコマ数を低減させたことで、前年の97%から98.2%へさらに向上した。また、学習室での「空き室を活用した学習スペース提供」の取り組みでは、前年度の取り組みで受験シーズンの需要が見られたことから今年も2～3月期に実施し、活用した室の利用率を向上させる成果があった。			
		【改善すべき点･課題等】（センター）教養室（和室）について引き続き区民への周知や講師の人材発掘を行い利活用の向上に取り組むが、椅子のない室は膝への負担などの理由からボリューム層である高齢世代に忌避される傾向があるため、若年層～働き世代を狙った事業活用に活路を求めたい。 （図書館）令和6年度減点項目であった貸出冊数を増やすため、出張おはなし会、「来館したらしおりプレゼント」、貸出冊数でたまるポイントカード等に取り組んだが、基準は未達成となったため、さらに改善に取り組む。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、学習スペースの利用率向上に向けて受験シーズンでの需要に注視し、提供日時や利用ルールなどをわかりやすくアピールするなどの取り組みの工夫が見られた点を評価し、1点加点する。学習施設全体の利用率は3%ほど減少しているため、更なる施設運営の工夫に期待する。項目2について、前年度減点であった貸出冊数は基準値変更の影響もあり基準値を満たした。また、利用者前年比増加率及び貸出冊数前年比増加率ともに加点基準を達成したため、2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】体育館の利用率は98%台へさらに向上し、図書館に関しても令和6年度は減点であった貸出冊数も基準値を満たし、改善されている。 【改善すべき点】学習施設全体の利用率が3%ほど減少しているので、空室を活用した学習スペース提供等の取り組みなど更なる工夫を期待する。 【その他注意点】			

			評価点		
E　3分野連携事業	**3分野連携事業を計画通り実施しているか**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の３種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型情報発信）をしているか　など	5.0	5.0	5.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】「親子でウクレレ体験」は、読書目的の来館者に文化活動をおすすめするプログラムで、定員の140%の応募を受け付けるなど、新規目玉事業としての成果があった。また「ぷちっとチケットで地域連携」は令和6年度の取り組みから協力店舗数、チケット使用数ともにステップアップし、3分野連携事業の広報に活用しているX（旧Twitter）において、新規フォロワーが30名増加するなど新規顧客獲得の成果につながった。			
		【改善すべき点･課題等】ペルソナである働き世代は貴重な余暇時間の使い方を自身で決めているため、異ジャンルへの誘引が不発に終わりやすい傾向がある。今後も事業内容の更なる充実や創意工夫により、利用者の異ジャンルへの誘導に努めていく。			
	区記入欄	【特記事項】おはなし会付きの歯磨き教室やウクレレ教室など、ニーズを踏まえた新規事業を開催し、多くの方に新しい学びの機会を提供した点を評価し、2点の加点とする。また地域の商店と連携したぷち事業参加者に近隣店舗で使えるチケットを発行する事業は年を重ねて浸透してきており、今後に期待できる。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】ぷちっとチケットの使用数が令和6年度の約7倍に伸びて地域商店との連携が定着しつつあるほか、図書館の動線を生かしたウクレレ体験など分野間の誘導に工夫が見られる。その他、おはなし会つきの歯磨き教室など、参加者に新しい学びの機会を提供している点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】ぷちっとチケット事業について、ポイント付与とチケット利用が増えるとさらに良い事業となると考える。			

			評価点×3		
F　主要事業の企画・実施・成果	**5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか（評価点×３）**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			25.2 （満点30点）
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】4回目となる「江北さくらマルシェ」を開催し、今年は好天に恵まれ来場者数1,459名を数える賑わいとなった。これまでの開催経験を踏まえ、地域資源の桜を旗印に、地域の人材、商店、企業等様々な主体の出展・出店に加えセンター主催の学びと文化の体験ブースも盛り込み、この江北地域の「楽しい、おいしい、まなびになる」要素を満載した開催で、「人々が集まり、地域に活気を吹き込む拠点になる」という指定管理当初のビジョンを達成できたと実感している。			
		【改善すべき点･課題等】地域のシンボルとして「さくら」を催事名に冠していることから、いわゆる桜のハイシーズン（東京では3月末～4月上旬のソメイヨシノの見ごろの時期）の開催を期待されるが、行政の動きと連動して最も多忙を極める時期、かつ終了後の片付けの時間を見込んで休館日前日の開催とせざるを得ないことから実現が難しい。実現のための方策としては①小規模複数開催化、ないし②独自の休館日設定（3月の第4日曜日など）を許可してもらう、等を考えている。			
	区記入欄	【特記事項】マルシェに協力いただくボランティアへの支援や江北の桜に関する質の高い事業の開催など、江北地域を中心とした様々なアプローチの結果、集大成の江北さくらマルシェは過去最高の参加人数となったこと、またマルシェ開催により多くの方に江北地域の魅力を発信したことを評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】集大成となる第4回江北さくらマルシェは過去最多の1,459名が来場し、39団体・52ブースの多様な主体の参画とともに多くの方へ江北の魅力を発信した。5カ年ビジョンの達成が確認できる。 【改善すべき点】桜の見ごろと開催時期のずれについては指定管理者自身も課題としており、次期に向けて開催形態の工夫の検討を期待したい。 【その他注意点】			

			評価点×2		
		利用者の満足を得られているか（評価点×２）	指定管理者	担当課	評価委員
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.3（×2）	33.2 （満点40点）
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示　など		4.6（×2）	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙　など		4.1（×2）	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上　など		3.6（×2）	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】スタッフの受付・接客対応や施設の清潔さ、手入れについてかなり多くの割合で好意的な評価を受けている。また、学習センター・体育施設に関する情報を知った媒体としてあだち広報に次いで僅差の2位で口コミの割合が高く、来館されて好感を持っていただいた方から良いイメージを共有していただいてると感じ、嬉しく思う。			
		【改善すべき点･課題等】ご意見をいただいたトイレの電灯につき、自動消灯時間をデフォルトの3分→10分へ設定変更し、短時間の利用中でも急に消えてしまうことがないよう改善した。図書館では蚊が多いとの意見から電池式の蚊取り器を用意し、利用者への貸出対応を始めた。			
	区記入欄	【特記事項】】運営満足度と事業満足度に関しては、ともに令和6年度から増加している。特に接客に関する満足度は著しく向上しており、日頃の管理運営の努力が伺える。また要望に対しても素早い対応を行うことで利用者サービスの向上に繋げている点を評価する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】接客・清潔さへの満足度が高く、運営満足度と事業満足度は、ともに令和6年度から増加している。自由意見でも職員対応への感謝が多い。 【改善すべき点】 【その他注意点】図書館では閲覧席のおしゃべりや座席の占有に関する声が複数あり、座席区分の表示や巡回強化など対応は進められているが、快適な閲覧環境の維持に向けた継続的な対応を求めたい。			
合計点			110.0（満点130点）	137.2（満点=170点）	162.2（満点=200点）

特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	地域のまなびの拠点となる施設として、登録団体等とうまく連携することで、集大成の江北さくらマルシェが過去最多の1,459名を集め、かなりの成功となっている。『江北名所地図』の完成も含めてビジョンの達成が確認できる。さらに、あらゆる主体が自主的に参加できるよう、取り組んでほしい。令和6年度減点となった応募者対応の引継ぎ不足と図書館貸出冊数はいずれも改善された一方、収支は人件費増等の影響により赤字となっており、次期に向けて収支を意識した運営と学習施設利用率の回復、講座への新規参加者の獲得に期待したい。

【評価委員会評価結果】

評価委員会評価結果	得点	評価
	162	A−

⇒ ﾗﾝｸﾀﾞｳﾝ 有・(無) ⇒ 総合評価 A−

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
1-D項目1における減点事項について、収支差額がマイナスである。公契約条例改定に伴う人件費増という外的要因や、5年間平均では黒字である点は理解できるが、自主事業の拡大等による収支改善の取り組みを求める。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A−	B＋	B	B−	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」･･･評価項目が全て「３」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。